

令和2年度指定管理業務に関する事業報告書（地域包括支援センター）

センター名 勤修地域包括支援センター

1 施設の管理運営

開所時間 8：40～17：40 開所日 月～金 土日夜間年末年始は携帯電話による対応 担当学区：勤修学区，山階南学区，百々学区 隔月の第4日曜日の午前中に高齢者の居場所として「ほかほかサロン」をおこなっていましたが、現在はコロナウイルス感染拡大防止のため休止しています。
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

<ul style="list-style-type: none">・ すこやか学級，地域ケア会議，地域のお祭りなどに出席し介護予防・認知症啓発，地域連携などをおこなった。町内会の回覧板と一緒に勤修包括の広報誌「ほかほか」を年3回、回してもらっている。コロナウイルス感染拡大防止のため参加機会は例年に比べて少なかった。・ ほぼ全て全戸訪問対象者にアプローチし，必要な人にはサービス等につなげた。・ ケアマネジャー支援として同行訪問等をおこなった。・ 地域役員やケアマネジャー等からの連絡があった虐待ケースの対応をおこなった。・ 集団検診がなかったので介護予防啓発はできなかった。・ 運営推進会議に文書等で参加した。・ 在宅医療・介護連携支援センターと連携した。
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容
(参考) 自主事業内容

3 サービス提供状況

主任介護支援専門員2人（センター長と兼務），看護師2人，社会福祉士1（令和3年2月末 1人退職）人，介護支援専門員3人 合計8人 他に事務員が兼務で1名。
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

・ 市内中小企業に優先して発注するよう努めた。・ 特殊設備等の保守管理以外は市内中小企業を活用した。
--

5 施設の利用状況（施設の稼働率，利用者数，事業参加者数など）

(1) 介護予防支援給付対象者数（実績値）

人

(2) 相談延べ件数（実績値）

件

(3) 収支実績

ア 令和2年度収入状況（単位：円）

委託料	35,376,040
介護保険収入	24,249,045
その他	518,626
収入計	60,143,711

イ 令和2年度支出状況（単位：円）

人件費	50,634,697
事業費	3,816,091
委託費	3,143,251
小額修繕費	0
その他	2,000,000
支出計	59,594,039

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

京都市勧修地域包括支援センター指定介護予防支援事業所の職員の対応についてアンケートをおこなった。方法：ご利用者にアンケートが記入された返信ハガキを手渡した。回収率：62%（配布数：316 回収：196）アンケート実施期間：令和2年11月1日～令和3年1月31日

(2) 利用者満足度把握の結果

満足 173人
やや満足 12人
普通 11人
やや不満足 0人
不満足 0人

(3) 意見等への主な対応状況

結果をホームページで公表している。苦情については苦情窓口を設置している。また職員間で共有し、再発防止策を決めている。

7 その他特記事項

(1)

--

(2)

--

8 評価（指定管理者自己評価）

高齢者数が多く業務は大変多いが、介護予防マネジメント、地域支援事業、全戸訪問など各事業にバランスを維持しながら取り組んでいる。地域役員、サービス事業所、医師等参加していただいて日常生活圏域地域ケア会議企画したが、感染拡大防止のため中止した。個別地域ケア会議から圏域地域ケア会議へ課題を抽出していくことが課題。全戸訪問対象者の情報共有を地域の役員さんとおこなった。地域の催しは少なかった。リモートによる介護の参加機会が増えた。小学生対象に認知症サポーター養成講座をおこなった。予防給付等は一定のペースで増えている。今後はさらに合理的にまた経費節減に取り組む必要がある。事業所内事例検討会では利用者に寄り添う視点の重要性を確認し、障害を理由とする差別の解消により理解を深めた